

持続可能なグローバル社会に向けた 5課題解決への提言



2009 11/2 (月) 9:00~

入場料:無料 会場:北海道大学学術交流会館講堂
(札幌市北区北8条西5丁目)
事前申込み:必要
定員:200名(先着順)
主催:北海道大学 後援:文部科学省(予定)
言語:日本語・英語(同時通訳付き)

北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部は、社会と環境の持続可能性に係る5領域の研究を強力にサポートしてきました。これら ①地球温暖化 ②感染症対策 ③水の統合的管理 ④循環型社会の構築 ⑤食糧・森林の安定的確保の領域では、すでに多くの研究成果が産まれています。これまでに培った科学的知見を活かし、科学者が地球規模の課題解決に向けた新たな社会の枠組みについて提言します。

オープニングセレモニー

9:00~10:10

- ヴィム・ヴィヴェル (Wim Wiewel) アメリカ ポートランド州立大学 学長
基調講演「持続可能な社会への変革を導く大学と社会の連携のあり方」(仮題)

オープニングシンポジウム

10:10~18:00

10:10~ セッション1. 感染症の先回り予防のために

- 喜田 宏 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター長
人獣共通感染症対策の基盤はグローバルサーベイランスにある:鳥、ブタ、そしてパンデミックインフルエンザ
- 倉田 毅 富山県衛生研究所 所長/前国立感染症研究所 所長
新興・再興感染症の克服戦略(仮題)

11:15~ セッション2. 水の統合的管理の拡大のために

- 船水尚行 北海道大学工学研究科 教授
水の国際開発援助に対する日本の役割
- ジョセフ ウェテ (Joseph Wethe)
ブルキナ ファソ 水と環境工学国際研究所 主席研究員
開発協力のカウンターパートからの視点
ーブルキナ ファソの事例からー(仮題)

12:15~ セッション3. ポスターセッション

- サステナビリティ・ウィーク2009
第1回学生研究ポスターコンテスト

14:00~ セッション4. 循環型社会の構築のために

- 吉田文和 北海道大学公共政策大学院 教授
危機を転じて機会に、アジアの環境協力を
- 李金恵 中国 清華大学環境科学と工学部 教授
中国の循環経済:現状と将来に向けた提案

14:55~ セッション5. 食料・バイオマスの持続的確保のために

- 大崎 満 北海道大学農学研究院 教授
食料とエネルギーの自給による北海道の自立計画
- 招待講演(交渉中)
循環型農業の現状と展望(仮題)

16:05~ セッション6. 地球温暖化時代の新たな枠組みのために

- 白岩孝行 総合地球環境学研究所/北海道大学低温科学研究所 准教授
オホーツク海の未来可能性に向けた
国際コンソーシアム構築
- 新谷哲章 網走漁業協同組合 理事/網走合同定置網漁業 副代表
オホーツク海の水産資源と漁協の取り組み
- 山田照夫 津別町有機酪農研究会 会長
健全なる陸-海物質循環系に対する
酪農業からの実践
- 本間浩昭 毎日新聞社北海道報道部・根室
ボーダーの生態系をどう守るか

17:10~ セッション7. 5つの提案を貫く大学のあり方について

- 池田元美 北海道大学地球環境科学研究院 教授
持続可能な社会づくりを担う
高等教育機関のイニシアチブ

※講演者、講演タイトルは都合により変更になる可能性があります。

事前申込み
受付中

※参加申込みは下記URLにて受付けています。また、Eメールや電話での申込みも可能です。

<http://www.sustain.hokudai.ac.jp/sw2009/jp/>
E-mail:office1@sustain.hokudai.ac.jp TEL:011-706-2093



お問
合わせ先



サステナビリティ・ウィーク2009事務局 北海道大学「持続可能な開発」国際戦略本部

〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目 ※会場には駐車場がありません。公共の交通機関をご利用の上ご来場ください。

TEL:011-706-2093 FAX:011-706-2095 E-mail:office1@sustain.hokudai.ac.jp

